

令和3年度大学院入学試験問題 (前期募集)

学校 教育 専攻 心理 臨床 コース

注意事項

1 問題用紙と解答用紙は別である。解答は必ず解答用紙の解答欄に記入すること。また、解答用紙は問題番号ごとに別になっているので、解答に際しては問題番号と解答用紙の番号が一致するかよく確認すること。

問題番号と一致しない解答用紙や所定の解答欄以外（裏面を含む）に記入したものについては、いっさい採点の対象にならないので注意すること。

2 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。

3 **問題I**と**問題III**は、全員が解答すること。

4 **問題II**は、【教育相談の実践にかかわる小論文】、または【心理学にかかわる基礎的内容】のいずれか一方を選択し、解答すること。

【教育相談の実践にかかわる小論文】を選択できる者は初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者とする。

5 **問題I**（【心理学に関する外国語（英語）】）について、英和辞書のみ使用を認める。電子辞書の使用は認めない。

6 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙（及び下書き用紙）は持ち帰ること。

問題 I [心理学に関する外国語(英語)] (50点) 全員が解答すること。

英和辞書の使用を認める。

以下の英文を読み、日本語で訳しなさい。

著作権の関係により掲載いたしません。

問題Ⅱ 〔教育相談の実践にかかわる小論文〕、または次頁の
〔心理学にかかわる基礎的内容〕のいずれか一つを
選択し、解答すること。

〔教育相談の実践にかかわる小論文〕を選択できる者は
初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者とする。

◎ 〔教育相談の実践にかかわる小論文〕（75点）選択問題である。

予防的教育相談について、自分が行ってきた実践を通して具体的に説明しなさい。

問題Ⅱ

◎ [心理学にかかわる基礎的内容] (75点) 選択問題である。

パーソナリティ特性の分類に用いられるビッグファイブ (Big Five) について、それぞれの特性を強みと弱みの2側面から説明しなさい。

問題Ⅲ [臨床心理学] (75点) 全員が解答すること。

ロジヤーズ (Rogers, C. R.) が「パーソナリティ変化の必要にして十分な条件」としてまとめた6つの条件について説明しなさい。